

# 仏教社会福祉辞典

*Buddhist Social Welfare Dictionary*

基礎構造改革に揺れる社会福祉を  
仏教の教えと実践の視点で  
問い直す、初の辞典！

日本仏教社会福祉学会 編

[編纂委員]

中垣 昌美 (四天王寺国際仏教大学大学院教授)

吉元 信行 (大谷大学教授)

宮城洋一郎 (皇學館大学教授)



## 特色

- ◎欧米のソーシャルワークの考え方や概念だけが先行している現代社会において、**仏教の土壌にもそのルーツや原点がある**ことを提示した本邦初の辞典。
- ◎社会福祉の現場でよく使われる**社会福祉用語**を仏教の立場から説明するのに加え、**キーワードとなる仏教語**も立項した。
- ◎**日常用語**の中に仏教と福祉の意味を解き明かし、**仏教用語**の中に福祉の意味を見出した。
- ◎日本の社会事業に携わった主要な**仏教者**や**施設・団体**を取り上げた。
- ◎厳選された**368項目**による中項目式を採用しているため、仏教社会福祉の概念が立体的に理解できる。
- ◎**約4500項目の索引**を巻末に収載。

A 5判・上製カバー装・360頁  
定価：3,675円(本体 3,500円)  
ISBN4-8318-7018-8 C3515

法藏館

# 刊行のことば

欧米の理論で形成発展した社会福祉は、現在、実践現場において数々の問題と課題を抱え、その克服のため、地域住民やクライアント主体の社会福祉へと大きく転換しています。その指針として、仏教の教えが、いま、世界中から注目を集めています。

わたしたち日本仏教社会福祉学会では、1966年の発足以来、仏教が社会福祉に果たしうる役割と可能性を信じ、仏教社会福祉の対象を正確に把握し、概念を明確にすることを目的に、研鑽につとめてまいりました。

社会福祉とは、あくまでも近代産業化社会の構造的欠陥から必然的に創出される社会的障害問題への対応策として捉える必要があります。

しかし、残念なことに、仏教による社会事業や社会福祉を、心情的・愛他的なものとして誤解し、美徳化された古いタイプの慈善・親切・奉仕といった概念と混同されることがままありました。その結果、幸福即福祉、仏教即福祉という理解も見られました。これらには、歴史的社会的に規定された社会問題という認識の欠如を指摘できるでしょう。

本辞典では歴史性・社会性を正しく認識した仏教社会福祉固有の視点から、用語の解説と意味づけを試みました。このように先駆的で開拓的な編纂作業は苦難も多く、またいまだ完全とは言い切れぬ面も残されています。読者諸氏よりご叱正とご鞭撻を得ながら、いつの日か、本辞典が歴史的社会的に評価される完成品に仕上がることを念じております。

そして本辞典の成果が、やがては、共に生き、共に育つ人間であることを共感しあえる福祉の街づくりを推進する原動力となり、仏教団体または仏教者が、民間の立場で社会福祉行政のよきパートナーとして、地域福祉活動に参画する支援団体となることを強く期待している次第です。

2006年3月

日本仏教社会福祉学会代表理事  
仏教社会福祉辞典編纂委員長

中垣昌美

# すいせんします!



阿部志郎 日本キリスト教福祉学会会長  
神奈川県立保健福祉大学学長

見事な出来栄え、座右の書に

『仏教社会福祉辞典』の刊行に驚きを覚える。日本仏教社会福祉学会はここまで成熟したのか、と。しかも、見事な出来栄えではないか。

学会の実力を示すこの辞典は、学会員がひとつ心になり総力をあげて真理を明らかにし、学問の質の高さを証明しただけでなく、仏教社会福祉学への懇切な手引の役割を果たすに違いない。編纂の御労苦に敬意を表する。

私の机の上に、中村元の仏教語大辞典に並ぶ座右の書が一冊増えたことを喜んでいる。



大橋謙策 日本地域福祉学会会長  
日本社会事業大学学長

心の内面を反映させた福祉

本辞典は社会福祉関係者が久しく待ち望んでいたものである。

社会福祉は生活機能障害を有している人々に対して制度を活用しながら自立生活支援を行なう営みである。それは、支援を必要とする人と援助者の心の内面を反映させた交わりの過程である。日本人の生活・心理・文化・言語には仏教思想が色濃く反映している。それだけに、心の内面を反映させた交わりを説き明かすには仏教思想の理解が欠かせない。

本辞典は社会福祉実践者が自らの実践を振り返る際の恰好の書であり、座右の書になるであろう。



高橋重宏 日本社会福祉学会会長  
東洋大学社会学部教授

転換期の社会福祉に多くの示唆

介護保険制度の見直し、児童福祉法及び児童虐待防止法の改正、障害者福祉におけるグランドデザインを含めた三障害統合による障害者自立支援法の制定、三位一体改革による地方分権や財源委譲の推進など、日本の社会福祉制度は新たな転換期を迎えている。改革に揺れ未だ確かな方向性が定まっていない社会福祉を仏教の視点で問い直す『仏教社会福祉辞典』が十数年の歳月をかけて刊行された社会的意義は極めて大きい。思想、価値、倫理、実践方法も含めこれからの社会福祉に多くの示唆を与えることを期待している。

◇<sup>こうせい</sup>更生

㊦ rehabilitation ㊧ punar-utpādāna  
もとのよい状態に戻る。

定義 「更生」という言葉は「生き返ること、新しい状態に戻る」という意味で使われる。倒産企業の「会社更生法」の申請、犯罪者の更生や非行少年の更生保護などの例がある。仏教語では「きょうしょう」という。

展開 大乘経典『涅槃経』に、体の衰弱でまさに死なんとする帝釈天が釈尊の説法によって生き返った時、次のような感謝の気持ち告白している。「世尊よ、私は今、即死即生しました。命を失い命を得たのです。(中略)このことがまさに“更生”です。あらためて命を得たということです」と。このことは、次のような有名な仏典の物語にもみることができる。

釈尊の時代、もとは残忍な凶賊であった

アングリマーラ時、彼が托鉢している婦人をみかたらず真実語をしかし、何百人自分の過去についてもできないのそして釈尊の教って以後、決してせん」という真ころ、彼女は安出家をしたけれども、なかなか暗い過去のしが

まれ変わって、これからの精進こそ大切なことであることを学び、さとの境地に達したという。

仏教社会福祉の意味づけ 一般に、更生というのは、周りから手助けされるもの、与えられるものと受け取られがちであるが、社会福祉の現場では、私たち自身が強い意志をもって、新しく生まれ変わり、変革していこうとする主体的な生き方を援助することである。(吉元信行)

⇒教誨

◇<sup>こうでん</sup>香典(香奠)

㊦ obituary gift for incense

香の代物の意味から転じて、仏前に供える金銭をいう。

定義 香典の「典」は、物を買取るという意味であり、香奠の「奠」は、まつる、すすめるという意味である。また、香資・香儀・香錢・香田という場合もある。

◇<sup>あだちけんちゆう</sup>安達憲忠 1857(安政4)～1930(昭和5)

㊦ ADACHI Kenchu

明治から大正期に活躍した社会事業家。

略歴 備前国小野田村(現・岡山県赤磐郡)の農家に生まれ、幼少の頃、母を失い、遠縁にあたる天台宗願興寺の徒弟となり、10歳で僧籍を得た。青年期の1879(明治12)年から1883年頃、「山陽新報」記者として岡山県下における自由民権運動で活躍したが、県令高崎五六の弾圧があって、挫折した。1883年末に上京、新仏教運動への関わりや「福島新聞」の記者などをへて、1887年、かつての政敵であった東京府知事高崎五六を訪問、府雇員に採用され、1891年、「東京養育院」幹事事務取扱に任じられた。

展開 安達は幹事として、渋沢栄一(1840～1931)院長のもとで、その近代化に尽力することとなった。まず、孤児の養育にすぐれた実績をもつ瓜生岩(1829～97)を主任に抜擢し、里親制度や感化学校の設立にも取り組んだ。養育院児童のなかに肺

教団のあり方に対し、批判的な態度をとっている。社会の進展に対する仏教側の認識の遅れや教条主義を批判し、急激に変化する現実の社会で、貧窮に苦悩する人々への救済は精神面と物質面の両方からなされるべきであると。また、彼は「仏教同志会」の設立で幹事を引き受けたり、上宮教会の理事としても活躍した。

参 内藤二郎編『安達憲忠関係史料集』彩流社、1981年。原典仏教福祉編集委員会編『原典仏教福祉』北辰堂、1995年。

(山下憲昭)

⇒瓜生岩 ⇒仏教同志会

◇<sup>あみだらいごう</sup>阿弥陀来迎

㊦ welcoming of an aspirant into the Pure Land by Amida Buddha

㊧ pratyudyāna

臨終に際し、阿弥陀仏と菩薩が迎えにくること。

定義 来迎ともいい、念仏行者の臨終の際に、阿弥陀三尊が25人の菩薩とともに白

# 『仏教社会福祉辞典』全項目一覧

## ◆概念・用語

愛 遊び 阿弥陀来迎 有難う 安居  
安心 意地 一期一会 一念発起 一  
揆 いのち 祈り 因果 インフォ  
ムド・コンセント 有漏 廻向 縁  
縁起 援助 往生 長 恩赦 御同行  
・御同行 海外開教 階級差別 介護  
カウンセリング 拡大と拡散 合掌  
願 鰥寡孤独 環境 関係 看護 監  
察 観察 勧進 感応道交 機 喫茶  
祈禱逆境と順境 救済 教誨 共感と  
同情 教化 共生 勤勞 苦 俱会一  
処 供養 解脱 決定 現象 講 更生  
香典 ゴールドプラン 国際社会  
福祉 極道 極楽国土 五濁 乞食  
困窮 在家主義 濟世事業論 さとり  
差別と人権 作務 三世 三宝 四恩  
自我 自覚 慈濟 四摂事 四聖諦  
施設 慈善 地藏信仰 自尊心 実践  
自然 慈悲 寂靜 娑婆 自由 宗教  
的情操 宿業 衆生 出家 出生 出  
世 寿命・命根 受容 生 障害 障  
害者 生死 正定聚 生死輪廻 浄土  
証明 除苦惱法 初心 自利利他 信  
仰 身心 信念 真理 救い 誓願  
請求 世界 説教 殺生 接待 施与  
世話 先生 先祖 葬儀 僧伽 相扶  
僧侶 ソーシャルワーク 即 大慈悲  
心 大乘と小乗 達観 檀家 知識  
中道 罪 転換 天神地祇 転迷開悟  
同和問題 トランスパーソナル 如実  
知見 女人成仏 如来 脳死 農民階  
級 抜苦与楽 反抗 非行 ビハラー  
平等 福祉 福田 福利 布施 仏教  
医療 仏教看護 仏教教育 仏教グル  
ープワーク 仏教福祉と仏教社会福祉  
仏教保育 法印 方便 保護 菩薩行  
菩提心 ボランティア 盆 煩惱 末

法の濁世 満足 妙好人 無 迷信  
瞑想 文殊信仰 薬師信仰 養う 病  
唯我独尊 欲 リハビリテーション  
利益 臨死 臨終行儀 老 六波羅蜜  
和

## ◆事項

足尾銅山鉱毒事件 一隅を照らす運動  
越前大い揆 往生伝 大茶盛 『救済』  
『教海一欄』 『慈善救済史料』 『四明  
餘霞』 ジャータカ物語 『宗教界』  
『浄土教報』 浄土宗捨世派 浄土宗  
のブラジル開教 震災 『新仏教』 救  
米・救金 『政教時報』 ダーナ運動  
仏教徒社会事業大会 『仏教徒社会事  
業大観』 北海道開拓 町方施行 満  
濃池 みんなの福祉をあつめる運動  
『無礙光』 『明教新誌』 『六大新報』

## ◆人物

赤松照幢 赤松連城 浅野研真 安達  
忠忠 新居日薩 池上雪枝 石川照勤  
石川素堂 一遍 宇治谷了嶽 瓜生岩  
叡尊 慧澄 大内青巒 大草慧実 大  
谷榮韶 大西良慶 奥村五百子 願阿  
弥 鑑真 木村武夫 行基 空海 九  
条武子 孝橋正一 光明皇后 空也  
西光万吉 最澄 佐伯祐正 颯田本真  
尼 真田増丸 椎尾弁匡 慈雲 釈尊  
聖徳太子 親鸞 鈴木修学 鈴木大拙  
禅海 善財童子 沢庵宗澎 武内了温  
谷山恵林重源 土屋詮教 網脇龍妙  
鉄眼 寺永法専 道元 土宜法龍 禿  
了教 日蓮 忍性 白隠 長谷川良信  
林文雄 富士川游 法道 法然 明恵  
無能 森永松信 守屋茂 矢吹慶輝  
了翁 良寛 蓮如 和気広虫 渡辺海  
旭

## ◆施設・団体

愛知育児院 あそか会 伊豆社会福祉  
事業会 石見仏教興仁会病院 上田明  
照会 宇都宮仏教慈善会 遠州仏教積  
善会 近江婦人慈善会 大阪養老院  
大谷派慈善協会 各宗協同仏教慈善会  
カルナ学園 感化院 九州大学仏教青  
年会 教団社会事業 京都私立子守学  
校 京都婦人慈善協会 京都養老院  
京都療病院 恵愛福祉事業団 京華看  
病婦学校 鶏鳴学園 齊修会 濟世病  
院 埼玉自強会 佐賀清光園 札幌慈  
啓会 讃岐学園 山陰家庭学院 三聖  
病院 四恩学園 信貴山成福院積徳会  
七山病院 四天王寺福祉事業団 宗教  
大学社会事業研究室 上宮教会 昭徳  
会 浄土宗報恩明照会 浄土宗労働共  
済会 湘南学園 真宗大谷派光明会  
真盛園 進徳教校と真宗崇徳教社 真  
龍女学校 星華学校 全国水平社 浅  
草寺病院 浅草寺福祉会館 曹洞宗国  
際ボランティア会 (SVA) 大勸進養  
育院 大日本仏教慈善会財団 大本山  
総持寺社会事業部 東海仏教慈恵学校  
東京盲人教育会 同善会 成田学園  
西本願寺白光荘 日本大菩提会 長谷  
川仏教文化研究所 反省会 悲眼院  
福田会 仏教護国団 仏教済世軍 仏  
教児童博物館 佛教大学社会事業研究  
所 仏教同志会 仏教徒社会事業研究  
会 仏教博愛館病院 仏眼協会 宝山  
寺福祉事業団 豊州保護会 本願寺母  
子寮 本派社会福祉推進協議会 前橋  
積善会 三重済美学院 身延山功德会  
身延山福祉会 身延深敬園 明庵栄西  
吉江学園 龍谷大学仏教文化研究所  
六方学園 早稲田病院



## 法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075(343)5656 FAX 075(371)0458  
homepage <http://www.hozokan.co.jp>  
e-mail [info@hozokan.co.jp](mailto:info@hozokan.co.jp)

06031310000

申込書

法藏館  
仏教社会福祉辞典  
[全1巻]

( )冊  
を申し込みます

ご住所 〒

ご氏名

TEL

ISBN4-8318-7018-8

取扱書店